

Asset Management

HSBC ワールド・セレクション

(安定コース) / (安定成長コース) / (成長コース)
愛称: ゆめラップ

追加型投信 / 内外 / 資産複合

交付運用報告書

第7期(決算日2022年8月19日)

作成対象期間
(2021年8月20日~2022年8月19日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ワールド・セレクション (安定コース)」(以下、「安定コース」)、「HSBC ワールド・セレクション (安定成長コース)」(以下、「安定成長コース」)、「HSBC ワールド・セレクション (成長コース)」(以下、「成長コース」)は、2022年8月19日に第7期の決算を行いました。

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界の様々な資産(株式、債券等)に分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

«お問い合わせ先(投信営業本部)»

電話番号: 03-3548-5690

(営業日の午前9時~午後5時)

ホームページ: www.assetmanagement.hsbc.co.jp



安定コース

第7期末(2022年8月19日)	
基準価額	9,963円
純資産総額	21,426百万円
第7期	
騰落率	△ 8.8%
分配金(税込み)合計	0円

安定成長コース

第7期末(2022年8月19日)	
基準価額	11,118円
純資産総額	37,266百万円
第7期	
騰落率	△ 7.2%
分配金(税込み)合計	0円

成長コース

第7期末(2022年8月19日)	
基準価額	13,147円
純資産総額	18,719百万円
第7期	
騰落率	△ 5.6%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社のHP(ホームページ)で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」の一覧の最新の運用報告書(全体版)を選択すると、当該運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。
※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

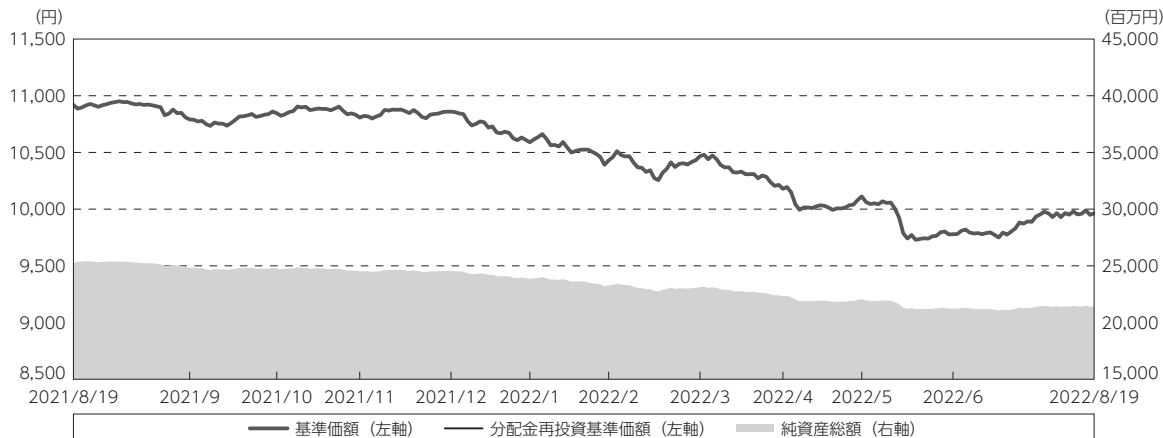
▶運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

◆運用経過◆

■安定コース

基準価額等の推移について

(第7期：2021年8月20日～2022年8月19日)



期 首：10,919円

期 末：9,963円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 8.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年8月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■基準価額の主な変動要因

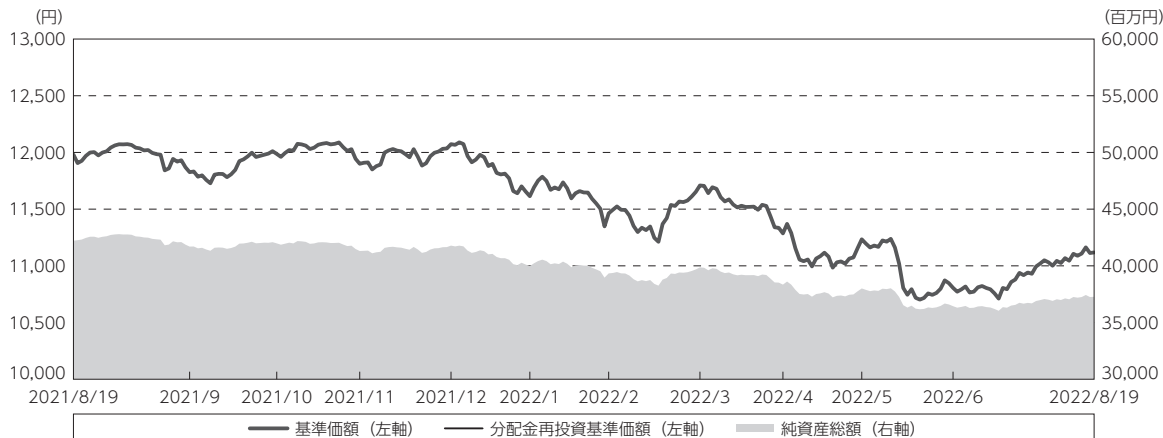
＜下落要因＞

米国を中心に世界的な金融引き締めの流れを受けて金利が上昇し、債券が全般的に下落したことを受けて基準価額は下落しました。

■安定成長コース

基準価額等の推移について

(第7期：2021年8月20日～2022年8月19日)



期 首：11,981円

期 末：11,118円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 7.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年8月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

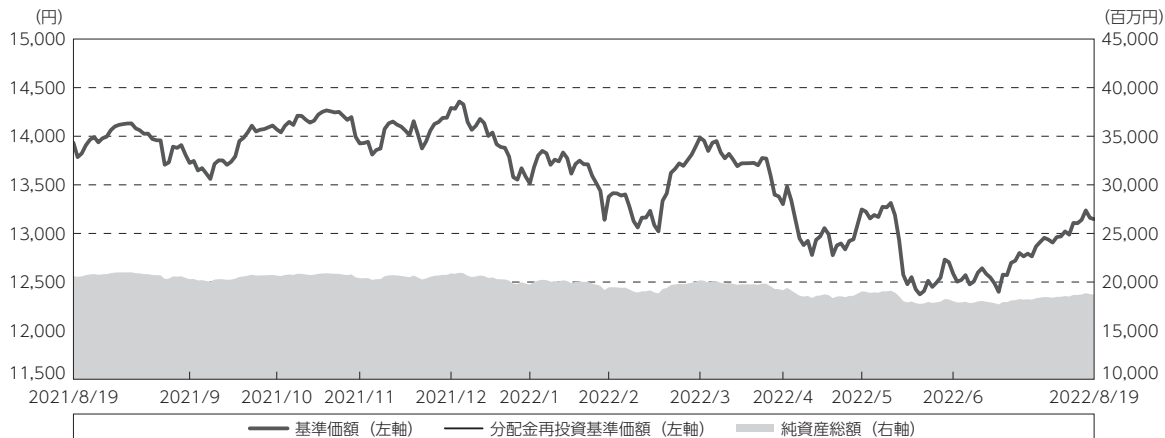
<下落要因>

米国を中心に世界的な金融引き締めの流れを受けて金利が上昇し、債券が全般的に下落したことを受けて基準価額は下落しました。

■成長コース

基準価額等の推移について

(第7期：2021年8月20日～2022年8月19日)



期首：13,933円

期末：13,147円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 5.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年8月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

<下落要因>

米国を中心に世界的な金融引き締めの流れを受けて金利が上昇し、債券が全般的に下落したことを受けて基準価額は下落しました。

1万口当たりの費用明細

■安定コース

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	130	1.243	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(63)	(0.605)	委託した資金の運用の対価(運用委託先への報酬が含まれます。)
(販 売 会 社)	(63)	(0.605)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.003)	
(c) そ の 他 費 用	2	0.015	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(1)	(0.008)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	132	1.261	
期中の平均基準価額は、10,476円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

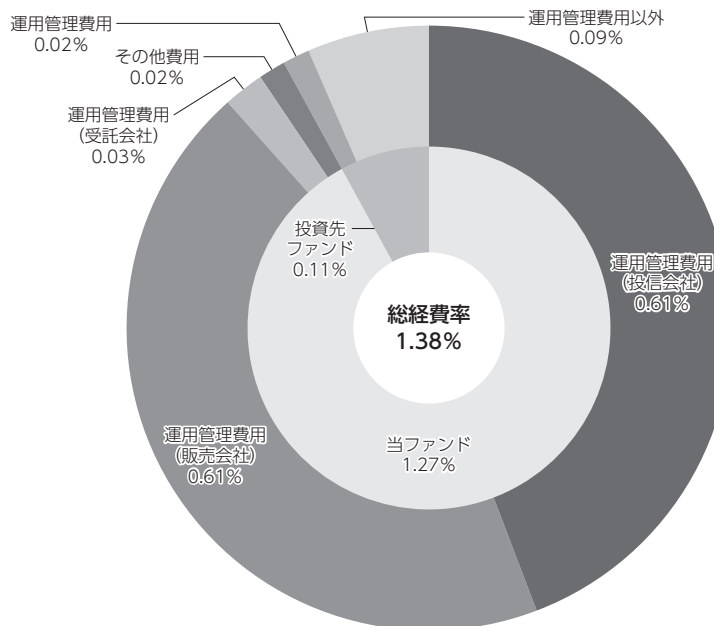
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.38%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.38
①当ファンドの費用の比率	1.27
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.02
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) ファンド名に「H S B C」を含まない投資先ファンドの経費率については、②に計上しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

1万口当たりの費用明細

■安定成長コース

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	144	1.243	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(70)	(0.605)	委託した資金の運用の対価(運用委託先への報酬が含まれます。)
(販 売 会 社)	(70)	(0.605)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.004	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.004)	
(c) そ の 他 費 用	1	0.012	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(0)	(0.004)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	145	1.259	
期中の平均基準価額は、11,575円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

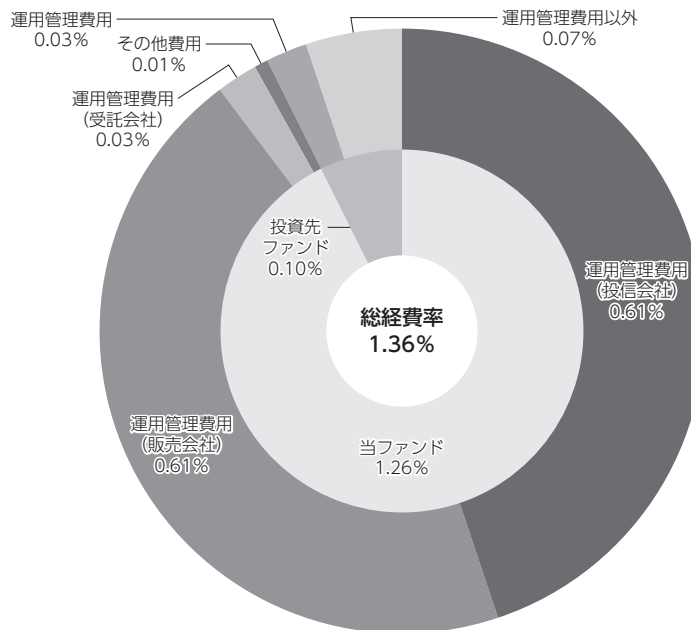
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.36%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.36
①当ファンドの費用の比率	1.26
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) ファンド名に「H S B C」を含まない投資先ファンドの経費率については、②に計上しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

1万口当たりの費用明細

■成長コース

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	169	1.243	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(82)	(0.605)	委託した資金の運用の対価(運用委託先への報酬が含まれます。)
(販 売 会 社)	(82)	(0.605)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.005	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(1)	(0.005)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	2	0.017	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.003)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(1)	(0.008)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	172	1.265	
期中の平均基準価額は、13,574円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

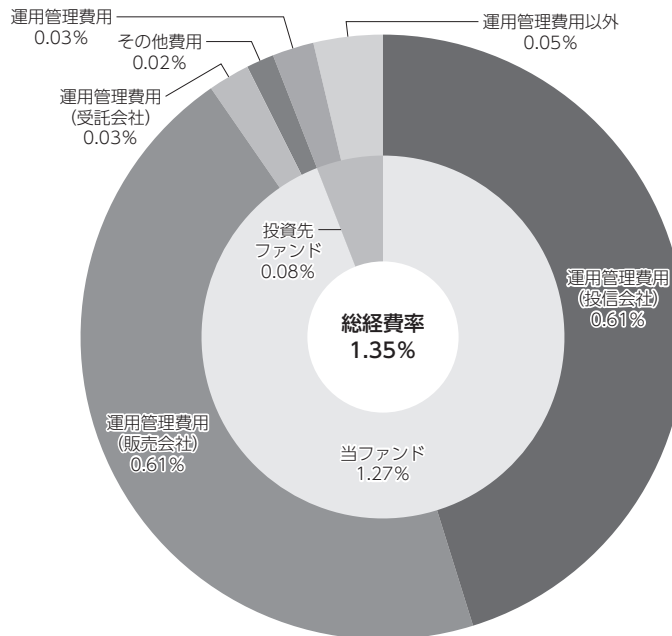
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.35%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.35
①当ファンドの費用の比率	1.27
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

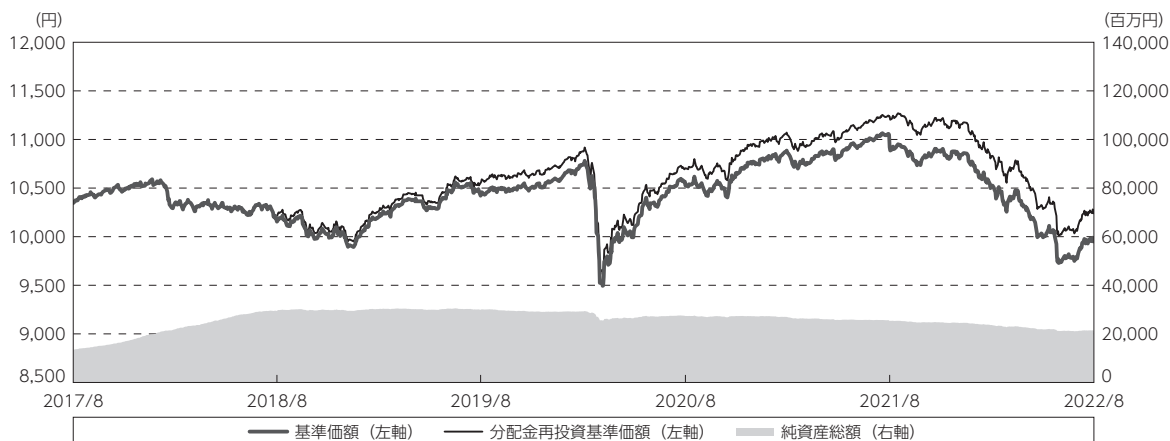
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) ファンド名に「H S B C」を含まない投資先ファンドの経費率については、②に計上しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2017年8月21日～2022年8月19日)

■安定コース



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2017年8月21日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年8月21日 決算日	2018年8月20日 決算日	2019年8月19日 決算日	2020年8月19日 決算日	2021年8月19日 決算日	2022年8月19日 決算日
基準価額 (円)	10,346	10,154	10,421	10,526	10,919	9,963
期間分配金合計(税込み) (円)	—	60	70	45	130	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 1.3	3.3	1.4	5.0	△ 8.8
純資産総額 (百万円)	13,331	29,436	29,911	27,316	25,266	21,426

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

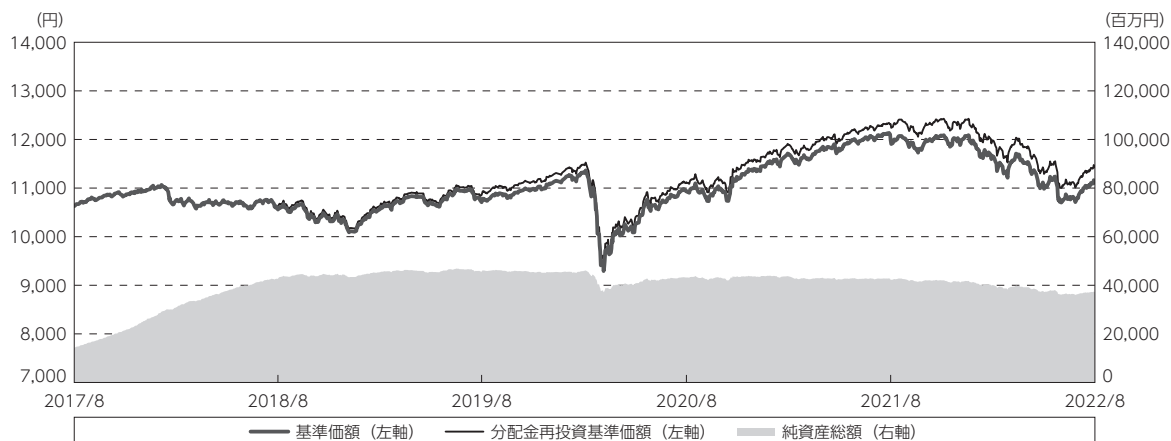
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

最近5年間の基準価額等の推移について (2017年8月21日～2022年8月19日)

■安定成長コース



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2017年8月21日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年8月21日 決算日	2018年8月20日 決算日	2019年8月19日 決算日	2020年8月19日 決算日	2021年8月19日 決算日	2022年8月19日 決算日
基準価額 (円)	10,629	10,558	10,708	10,935	11,981	11,118
期間分配金合計(税込み) (円)	—	70	80	30	130	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.0	2.2	2.4	10.8	△ 7.2
純資産総額 (百万円)	14,100	42,646	45,564	43,183	42,216	37,266

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

最近5年間の基準価額等の推移について (2017年8月21日～2022年8月19日)

■成長コース



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2017年8月21日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年8月21日 決算日	2018年8月20日 決算日	2019年8月19日 決算日	2020年8月19日 決算日	2021年8月19日 決算日	2022年8月19日 決算日
基準価額 (円)	11,059	11,396	11,361	11,857	13,933	13,147
期間分配金合計(税込み) (円)	—	10	10	10	120	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.1	△ 0.2	4.5	18.5	△ 5.6
純資産総額 (百万円)	6,376	19,330	20,316	19,603	20,625	18,719

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境について

■安定コース ■安定成長コース ■成長コース

【先進国株式】

先進国株式は、期初から2022年1月初旬までは一定範囲内で推移したのち、ウクライナ情勢を巡る緊張感の高まり、米国の利上げ開始への警戒感などから3月上旬にかけて下落傾向となりました。その後、3月下旬にかけて値を戻す動きとなったものの、6月中旬にかけて下落傾向に転じました。主要国での高インフレ、米国や欧州などでの金融引き締めが下落要因となりました。期末にかけては、主要国での比較的堅調な企業業績、米国の低調な経済指標を背景に同国での金融引き締め加速への懸念が和らいだことなどから、値を戻す展開となりました。

【新興国株式】

新興国株式は、期初から2022年2月中旬までは上下動を繰り返す方向感に欠ける動きとなりました。その後、ウクライナ情勢を巡る緊張感の高まりなどから3月中旬にかけて大幅下落となりました。4月上旬にかけて値を戻す動きとなったものの、期末にかけては下落基調となりました。米国などの世界的な金融引き締めに伴う投資家のリスク選好志向の後退などが下落要因となりました。

【先進国債券】

先進国国債は、期を通じて下落（利回りは上昇）基調となりました。主要国での高インフレ、米国や欧州などでの金融引き締めが下落要因となりました。

【新興国債券】

新興国債券は、期初から2022年2月中旬までは一定範囲内で推移したのち、5月中旬にかけて大幅下落（利回りは大幅上昇）となりました。ウクライナ情勢を巡る緊張感の高まり、新興国での高インフレ、米国などの世界的な金融引き締めが下落要因となりました。その後、7月中旬にかけて一定範囲内で推移したのち、主要国である中国の一段の金融緩和などが好感され、期末にかけては値を戻す動きとなりました。

【その他資産（不動産）】

世界の主要国の不動産関連株式は、期初から2022年1月初旬にかけて、主要中央銀行による緩和的な金融政策の継続などから上昇傾向となりました。その後、米国の早期金融引き締め観測、地政学的リスクの高まりなどから2月下旬にかけて下落傾向に転じました。4月中旬までは不動産関連株式の比較的高い配当利回りを背景に値を戻す動きとなったものの、6月中旬にかけて下落傾向に転じました。米国などの金融引き締めによる世界的な景気後退懸念を背景に、不動産需要減退への警戒感が下落要因となりました。期末にかけては米国の金融引き締め加速への懸念が和らいだことなどから、値を戻す展開となりました。

【為替相場】

円相場は、実効為替レート（貿易加重平均）で見ると、期を通じて下落基調となりました。通貨別には、円は米ドルに対して、期初から2022年3月上旬までは方向感に欠ける動きとなったのち、米国の金融引き締めなどから期末にかけて下落基調となりました。対ユーロでは、2022年2月上旬までは一定範囲内で推移したのち、ウクライナ情勢を巡る緊張感の高まりを背景としたユーロの下落に伴い、3月上旬にかけて円は上昇しました。その後、欧州中央銀行（ECB）による景気重視から物価重視への政策スタンスの移行などから、6月上旬にかけて円は下落傾向となりました。期末にかけては、ユーロ圏での景気の弱さが改めて意識され、円は値を戻す展開となりました。

ポートフォリオについて

■安定コース

投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を図ることを目的に運用を行いました。

資産別では、株式については、地政学リスクや米国を中心に利上げに対する警戒感が高まるなか、徐々に比率を引き下げました。その結果、期首に17%程度であった株式の比率は期末には13%程度となりました。

債券においては、2022年に入り、国債との利回り格差が拡大し投資妙味の高まった世界社債やハイ・イールド債券の比率を引き上げる一方、世界国債の比率を引き下げました。債券全体の比率は期首と期末で同水準の72%程度となりました。

また、当期はエネルギーや穀物などの商品や金を新たに組入れたほか、キャッシュ比率も引き上げました。

信託財産の構成(2022年8月19日現在)

世界株式	11.4%
新興国株式	1.7%
世界国債	37.6%
世界社債	22.7%
ハイ・イールド債券	3.7%
新興国債券	4.2%
ABS(資産担保証券)	3.7%
不動産・その他	9.3%
キャッシュ等	5.5%

■安定成長コース

投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を図ることを目的に運用を行いました。

資産別では、株式については、地政学リスクや米国を中心に利上げに対する警戒感が高まるなか、徐々に比率を引き下げました。その結果、期首に34%程度であった株式の比率は期末には30%程度となりました。

債券においては、2022年に入り、国債との利回り格差が拡大し投資妙味の高まった世界社債やハイ・イールド債券の比率を引き上げる一方、世界国債の比率を引き下げました。債券全体の比率は期首と期

末で同水準の54%程度となりました。

また、当期はエネルギーや穀物などの商品や金を新たに組入れたほか、キャッシュ比率も引き上げました。

信託財産の構成(2022年8月19日現在)	
世界株式	26.2%
新興国株式	3.7%
世界国債	24.7%
世界社債	15.3%
ハイ・イールド債券	5.3%
新興国債券	6.1%
ABS(資産担保証券)	2.5%
不動産・その他	11.6%
キャッシュ等	4.5%

■成長コース

投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を図ることを目的に運用を行いました。

資産別では、株式については、地政学リスクや米国を中心に利上げに対する警戒感が高まるなか、徐々に比率を引き下げました。その結果、期首に56%程度であった株式の比率は期末には51%程度となりました。

債券においては、2022年に入り、国債との利回り格差が拡大し投資妙味の高まった世界社債やハイ・イールド債券の比率を引き上げる一方、世界国債の比率を引き下げました。債券全体の比率は、期首の30%程度から期末は36%程度となりました。

また、当期はエネルギーや穀物などの商品や金を新たに組入れたほか、キャッシュ比率も引き上げました。

信託財産の構成(2022年8月19日現在)	
世界株式	44.1%
新興国株式	6.4%
世界国債	11.9%
世界社債	9.0%
ハイ・イールド債券	6.8%
新興国債券	6.9%
ABS(資産担保証券)	1.6%
不動産・その他	9.3%
キャッシュ等	4.1%

ベンチマークとの差異について

当ファンド（コース）は、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第7期(2021年8月20日～2022年8月19日)		
	安定コース	安定成長コース	成長コース
当期分配金	－	－	－
(対基準価額比率)	－%	－%	－%
当期の収益	－	－	－
当期の収益以外	－	－	－
翌期繰越分配対象額	762	1,607	3,147

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針◆

長引く供給制約などから世界的にインフレ率の上振れ懸念がある一方、引き締めの金融環境に伴い世界の成長見通しが下振れする可能性が高まっています。こうしたなか、リスク資産については引き続きディフェンシブ、特に株式においては選別的なアプローチを通じて相応のリターンを上げることは可能と見ていますが、世界的に金融引き締めが一段と強まれば、リターンがより低くなる可能性も考えられます。

引き続き、中長期的な市場見通しに基づき世界の様々な資産（株式、債券等）に分散投資し、定期的にかつ必要に応じて資産配分の見直しを行うことでファンドのリスクをコントロールし、信託財産の中長期的な成長を目指します。

◆お知らせ◆

商号変更について

H S B C 投信株式会社は、2021年11月1日付けで、商号を「H S B C アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

約款変更について

2022年4月8日付

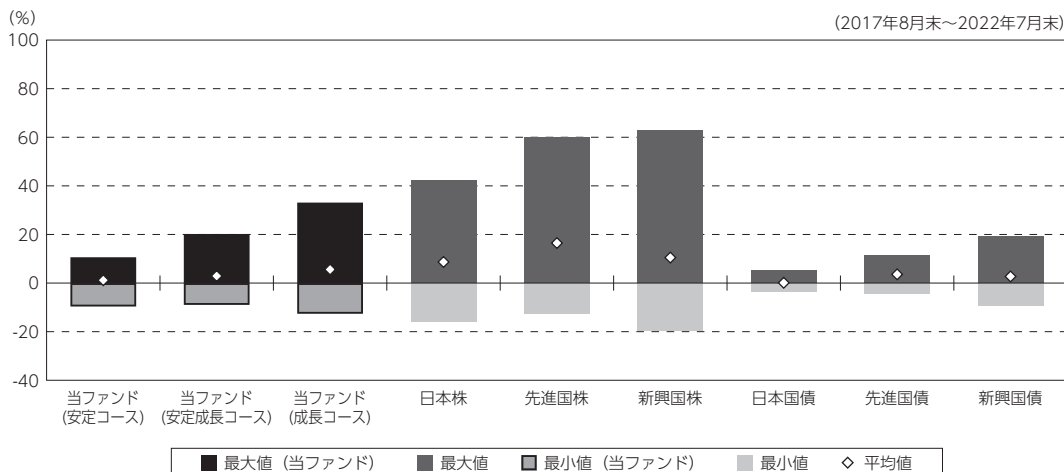
投資対象ファンドの一部変更を行いました。また、信託期間を10年間延長し、信託終了日を2045年8月17日とする約款変更を行いました。

◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2015年9月25日～2045年8月17日
運用方針	中長期的な市場見通しに基づき世界の様々な資産（株式、債券等）に分散投資し、定期的にかつ必要に応じて資産配分の見直しを行うことでファンドのリスクをコントロールし、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投資信託証券への投資を通じて、主として「先進国株式」、「新興国株式」、「先進国債券」、「新興国債券」およびその他資産を投資対象資産とし、分散投資を行います。 ・ ファンド（各コース）のリスクは標準偏差により計測し、3つのタイプを設け、それぞれのポートフォリオを構築します。 <p><目標リスク水準></p> <ul style="list-style-type: none"> ■安定コース：年率5%程度 ■安定成長コース：年率5%～8%程度 ■成長コース：年率8%～11%程度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。
分配方針	<p>年1回の決算時（毎年8月19日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆

■安定コース ■安定成長コース ■成長コース



(単位:%)

	当ファンド (安定コース)	当ファンド (安定成長コース)	当ファンド (成長コース)	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	10.6	20.2	33.1	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 9.7	△ 9.0	△ 12.6	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.5	△ 4.5	△ 9.4
平均値	1.2	2.9	5.6	8.7	16.5	10.5	0.1	3.6	2.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年8月から2022年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

◆当ファンドのデータ◆

(2022年8月19日現在)

■安定コース

当ファンドの組入資産の内容

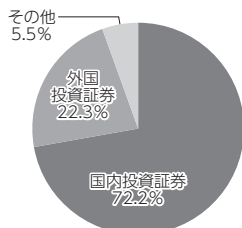
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
H S B C G I F グローバル・ガバメント・ボンド	36.8
H S B C G I F グローバル・コーポレート・ボンド	22.7
H S B C アメリカン・インデックス・ファンド	5.7
その他	29.2
組入銘柄数	24銘柄

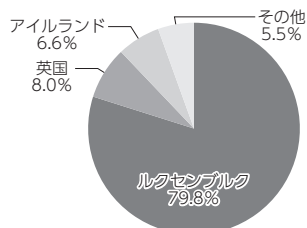
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

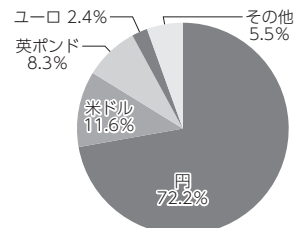
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

(注) 国内投資証券には外国籍(邦貨建)の投資証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

○純資産等

項目	第7期末
	2022年8月19日
純資産総額	21,426,888,500円
受益権総口数	21,506,391,458口
1万口当たり基準価額	9,963円

(注) 期中における追加設定元本額は360,200,380円、同解約元本額は1,993,687,891円です。

◆当ファンドのデータ◆

(2022年8月19日現在)

■安定成長コース

当ファンドの組入資産の内容

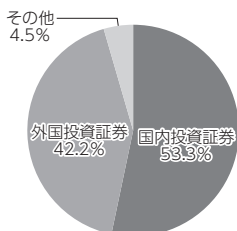
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
H S B C G I F グローバル・ガバメント・ボンド	23.9
H S B C G I F グローバル・コーポレート・ボンド	15.3
H S B C アメリカン・インデックス・ファンド	15.1
その他	41.1
組入銘柄数	25銘柄

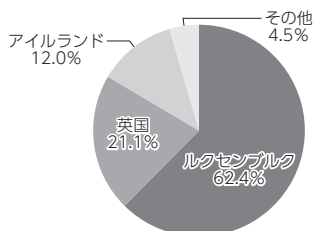
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

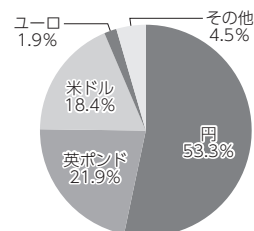
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

(注) 国内投資証券には外国籍(邦貨建)の投資証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

○純資産等

項目	第7期末
	2022年8月19日
純資産総額	37,266,179,338円
受益権総口数	33,518,049,749口
1万口当たり基準価額	11,118円

(注) 期中における追加設定元本額は952,022,533円、同解約元本額は2,670,290,490円です。

◆当ファンドのデータ◆

(2022年8月19日現在)

■成長コース

当ファンドの組入資産の内容

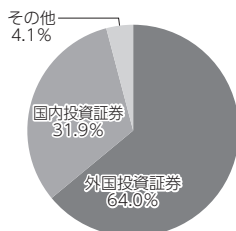
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
H S B C アメリカン・インデックス・ファンド	26.8
H S B C G I F グローバル・ガバメント・ボンド	11.1
H S B C G I F グローバル・コーポレート・ボンド	9.0
その他	49.0
組入銘柄数	22銘柄

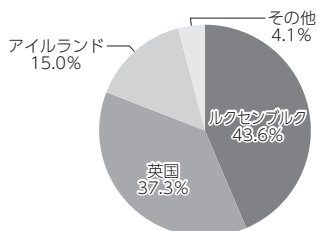
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

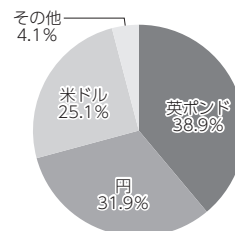
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

(注) 国内投資証券には外国籍(邦貨建)の投資証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

○純資産等

項目	第7期末
	2022年8月19日
純資産総額	18,719,623,366円
受益権総口数	14,238,620,171口
1万円当たり基準価額	13,147円

(注) 期中における追加設定元本額は770,283,666円、同解約元本額は1,334,858,974円です。

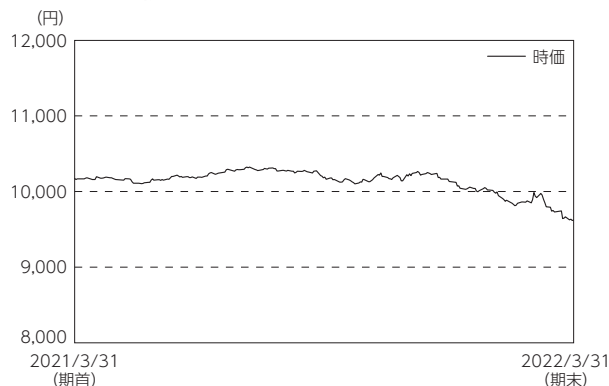
以下は、当期末現在、「安定コース」「安定成長コース」「成長コース」の各コースにおける組入上位3ファンド中に含まれるファンドの概要です。

組入上位ファンドの概要

◆HSBC G I F グローバル・ガバメント・ボンド（計算期間 2021年4月1日～2022年3月31日）

※以下のデータは、監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

○時価の推移



・上記は単位当たりの純資産額（日本円）で表示しています。

○1万口当たりの費用明細

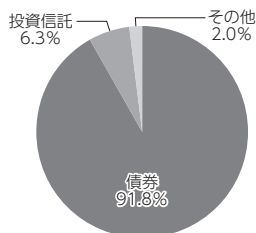
1万口当たりの費用明細については開示されていないため、記載しておりません。

○組入上位10銘柄

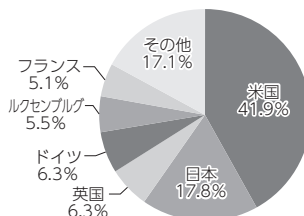
(2022年3月31日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	国(地域)	比率
1	HG1F BOND TOTAL RETURN Z ACC	投資信託	ルクセンブルグ	5.47%
2	US (GOVT) 0.375% 31/01/2026	債券	米国	4.44
3	GERMANY (GOVT) 0% 10/03/2023	債券	ドイツ	3.80
4	US (GOVT) 0.5% 28/02/2026	債券	米国	3.53
5	US (GOVT) 0.125% 31/01/2023	債券	米国	3.02
6	US (GOVT) 0.125% 28/02/2023	債券	米国	2.80
7	US (GOVT) 0.375% 31/10/2023	債券	米国	2.12
8	JAPAN (GOVT) 0.1% 20/12/2030	債券	日本	2.01
9	US (GOVT) 0.125% 31/10/2022	債券	米国	1.95
10	JAPAN (GOVT) 0.1% 01/02/2023	債券	日本	1.81
組入銘柄数			167銘柄	

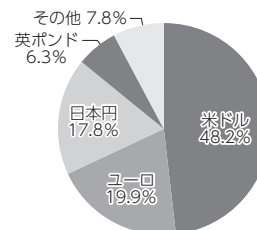
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

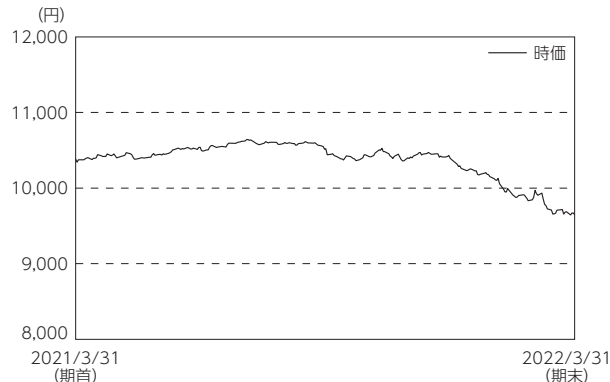


・国別配分は、国・地域別による配分です。
 ・キャッシュ部分については、「その他」に含めております。

◆HSBC GIF グローバル・コーポレート・ボンド（計算期間 2021年4月1日～2022年3月31日）

※以下のデータは、監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

○時価の推移



・上記は単位当たりの純資産額（日本円）で表示しています。

○1万口当たりの費用明細

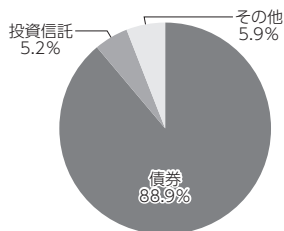
1万口当たりの費用明細については開示されていないため、記載しておりません。

○組入上位10銘柄

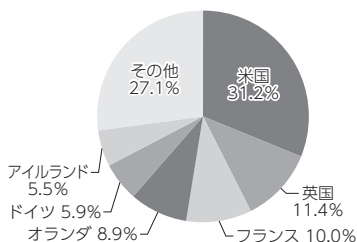
(2022年3月31日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	国(地域)	比率
1	HSBC GLOBAL LIQUIDITY FUND	投資信託	アイルランド	3.32%
2	US (GOVT) 1.875% 15/11/2051	債券	米国	1.92
3	HSBC GIF GLOBAL ASSET BACKED BOND "Z"	投資信託	ルクセンブルグ	1.82
4	DNB BANK FRN 28/03/2025	債券	ノルウェー	1.24
5	BANK OF AMERICA 2.972% VRN 04/02/2033	債券	米国	0.89
6	ATT 3.5% 15/09/2053	債券	米国	0.88
7	JPMORGAN CHASE 2.963% VRN 25/01/2033	債券	米国	0.74
8	AIRCATTLE 5.25% 11/08/2025	債券	米国	0.70
9	STANDARD CHARTERED FRN 30/03/2026	債券	英国	0.69
10	LOWES 4.25% 01/04/2052	債券	米国	0.63
組入銘柄数			590銘柄	

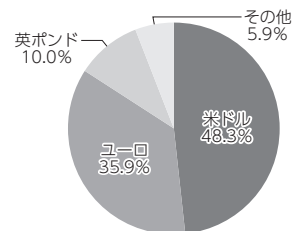
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



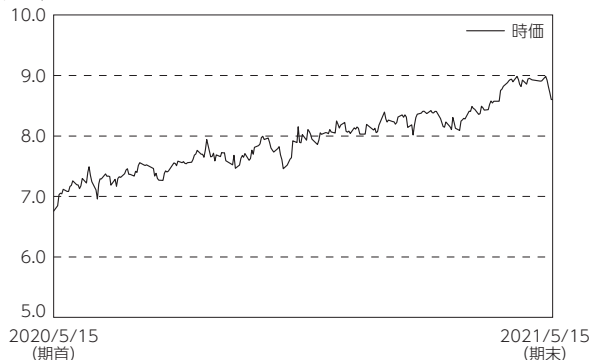
・国別配分は、国・地域別による配分です。
 ・キャッシュ部分については、「その他」に含めております。

◆HSBC アメリカン・インデックス・ファンド（計算期間 2020年5月16日～2021年5月15日）

※以下のデータは、監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

○時価の推移

(英ポンド)



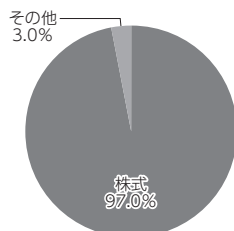
・上記は単位当たりの純資産額（英ポンド）で表示しています。

○組入上位10銘柄

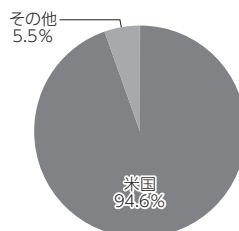
(2021年5月15日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	国(地域)	比率
1	Apple	株式	米国	5.54%
2	Microsoft	株式	米国	5.13%
3	Amazon.com	株式	米国	3.80%
4	Facebook	株式	米国	2.10%
5	Alphabet A	株式	米国	1.88%
6	Alphabet C	株式	米国	1.83%
7	Berkshire Hathaway B	株式	米国	1.54%
8	JPMorgan Chase & Company	株式	米国	1.39%
9	Tesla Motors	株式	米国	1.24%
10	Johnson & Johnson	株式	米国	1.23%
組入銘柄数			504銘柄	

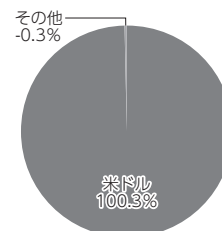
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



・国別配分は、国・地域別による配分です。
 ・キャッシュ部分については、「その他」に含めております。

◆指数に関して◆

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。